

3 設 計

Q-20 RC造に用いる場合のフラットデッキの許容スパンは型枠の内のり寸法で良いか？

A

フラットデッキの構造計算に使用する際のスパン長さ (L) の取り方を図-1 に示します。

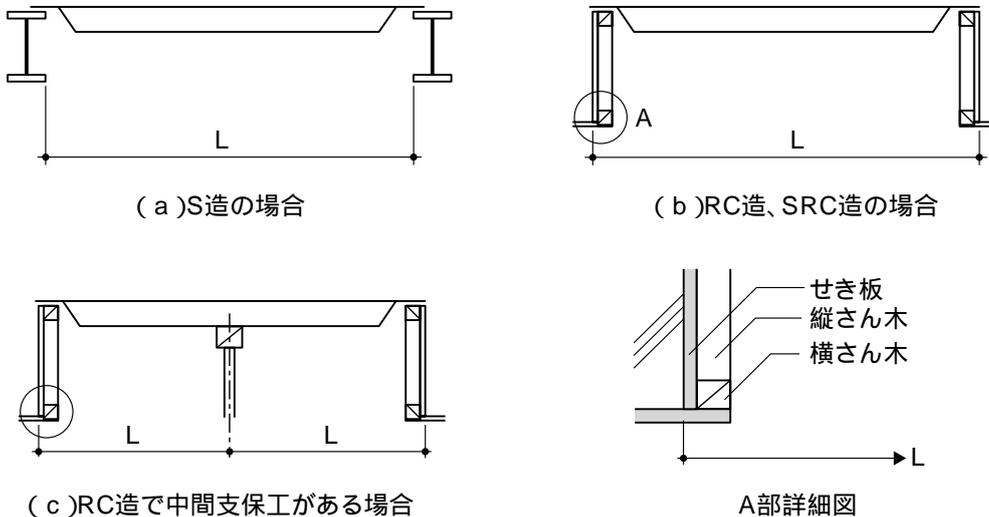


図-1 スパン長さ (L) の取り方

図-1 に示すように、構造種別に関わらず構造躯体の梁の内のり寸法でスパン長さ L を取りま
す。RC 造、SRC 造の場合も、梁型枠ではなく躯体の梁の内のり寸法がスパン長さ L となります。

梁型枠の剛性がフラットデッキ型枠の支持点として不足している場合、フラットデッキを支
持している横さん木が回転し、エンドクローズ部分が早期に曲げ降伏を起こす可能性があります。
そのため、RC 造、SRC 造の場合は縦さん木を設置し (標準 @600mm 以内) 横さん木の
回転を拘束することが大切です。

フラットデッキの許容スパン表も上記の前提に従い算出されております。そのため、スパン
表で示される許容スパン値は、梁型枠の内のり寸法ではなく、図-1 で示す構造躯体の梁の内の
り寸法となります。